

事業所名 夢の村グループホーム

作成日: 平成23年2月26日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	1ヶ月1回運営会議にて現状報告又職員の意見を運営者に文章、口頭にて伝える。運営者に伝えたことを職員に申し送りノート、口頭にて伝える。	管理者は、職員スタッフ会議を代表者へ伝えて参加出来る日定を計画し代表者と職員が直に話し合える機会を増やす。	管理者は、代表者と話し合い内容を記録する又職員の意見を聞き又出され意見や検討された内容を的確に記録に残す	随時ヶ月
2	12	重度化、終末ケアについて	法人は、終末期の対応や利用者(家族)が安心して過ごしていける終の住みかとして役割を担える、グループホームを目指す方針を持っている。現在地域の訪問看護ステーション、在宅医療をバックアップして頂ける医師を探している。関係者等の指導を期に本人、家族の希望に対応できる方針を作成する。	計画を作成して地域包括センター又関係機関に相談を行いながら対策行う	12ヶ月
3	13	災害対策。火災、地震等時朝、昼、夜を問わず利用者が避難できる方法全職員が身に着けている又地域、法人内の協力を得ている。	代表者へ避難訓練状況報告を行っている。法人理事長も必要物品や環境(建物から避難様子を聞き)改善に積極に取り組んでいる。	これからも代表者と話し合い訓練を年3回計画をする。いずれかの訓練に代表者等への参加要請を行い、デイサービスと共に訓練を行う。夜間想定訓練は、デイサービス職員との連携が図れるように実施をする。	12ヶ月
4	15	食事を一緒に楽しむ事が出来る支援について、介助者が5名の為一緒に食事が出来ていない。	一緒に食事が出来るように代表者と話し合い昼、夜、食事出来るように対策をする。	一緒に食事、間食が出来るように計画をする。利用者の状態を見ながらどうしても一緒に食事が出来ない日(病院受診同行、身体状態が悪い時、感染病疑いにて居室にて安静等時)、その人達を優先して間食、お茶を一緒に出来るように支援をする。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。